



佐伯市の食や自然、行事などを楽しめる市のYouTubeチャンネル「おこしくださいき」の動画視聴数が伸びています。

2020年5月12日付
大分合同新聞 14面

【佐伯】新型コロナウイルスの影響で国が外出自粛を求める中、佐伯市の食や自然、行事などを楽しめる市のYouTubeチャンネル「おこしくださいき」の動画視聴数が伸びている。

新型 コロナ

動画の公開は昨年7月、ラグビーW杯日本開催で来日した外国人観光客に佐伯をPRしようと市観光協会などが始めた。

当初は市内のキャンプ場や観光地、飲食店などをメインに配信。外国人だけではなく県外の市出身者から

撮影や取材は市内の動画クリエイター工藤智之さん(30)が担当。市や経済団体でつくる市雇用・産業支援協議会観光開発事業部「テントテント」と一緒に「ライブな佐伯を紹介し、懐かしい気持ちになつてもらいたい」と、老舗飲食店な

る。地域住民の生の声を交えながら親しみを感じられる内容に仕上げ、佐伯を訪れたような気分になれる」と好評だという。

も反響があり、現在は地元飲食店や港で働く人へのインタビューなど、佐伯のことを詳しく知ることができる112本を公開している。

「こんな状況だからこそ動画にして後世に残すことが大切。佐伯のファンを増やし、落ち着いたら遊びに来たいと思える動画を増やしたい」と話した。(大津麻菜)

食、自然、行事など紹介 人気「おこしくださいき」 市の動画、視聴数増



佐伯市のYouTubeチャンネル「おこしくださいき」の一場面。働く人へのインタビュー(写真上)や食の紹介(同下)などが楽しめる

①動画「おこしくださいき」はいつから、何を目的にスタートしましたか？

また、配信されている動画の内容は？

.....

.....

.....

②動画へのアクセス数が伸びたのはいつごろからですか？ 4月のアクセス数は何件？

.....

.....

.....

③「おこしくださいき」の動画視聴数が伸びているのはなぜだと思いますか？

.....

.....

.....

④担当者は今、どんな思いで動画を発信していますか？

.....